

11月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡など。11月中旬より精の一世から神馬、誠へ品種の切り替えが行われる予定。中旬以降は不安定な入荷が予想される。
	黄・赤菊	静岡、愛知産の入荷が主体となり、下旬より沖縄産の入荷も始まる。全体的に少な目の入荷が見込まれる。
小菊		沖縄、静岡、福島産主体の入荷となる見込み。全体的にやや少なめの入荷が見込まれる。
SP・ディスバッド		SPマムは愛知、静岡、栃木、鹿児島中心の入荷。品種が秋系に切り替わる。作付けは昨年と変わらない。ディスバッドは愛知、青森、静岡中心の入荷。暖地物の品質が良くなってくる。作付けは昨年並み。
バラ		国産は各産地高温期が続いたため、中～下位等級の発生が多い。ケニアなどの輸入品を手当して、入荷量は例年並みの見込み。
カーネーション		ST品種は千葉、SP品種は静岡中心。産地切り替え時期になるのでM～Lクラスが主体となる。輸入品は入荷やや増。
ガーベラ		静岡メインで、各産地微増傾向。上位等級が増えてくる見込み。
かすみ草		高冷地ほぼ切り上がり。上旬より暖地に切り替わる。地温が高く、出荷始まりは中間等級中心の出荷となりそう。
リシアンサス		関東、西南暖地中心の入荷。やや前進傾向だが、例年並みの入荷量を見込んでいる。夏の暑さの影響でやや短い物も多い。
ユリ	オリエンタル	埼玉、新潟平場、高知、千葉中心の入荷で、新潟県山手と北海道は出荷終了となる。施設栽培となり品質、数量も安定してくるが作付け減少の為、多く無い。白：色は6：4でカサブランカが品薄となり、八重品種が安定入荷となる。
	スカシ・鉄砲	スカシLAユリは、埼玉、新潟、高知中心の入荷で、数量は例年並みで多くない。鉄砲ユリは、長野が出荷ほぼ終了となり埼玉、高知中心の入荷でこちらも数量は少な目の入荷となる。
洋ラン類		オンシは輸入、国産ともに数量減少となる見込み。カトレア、デンファレは出荷量横ばい。ファレノは輸入中心で数量は横ばい。シンビは輸入終了となり国産が徐々に増えてくる見込み。
季節もの		新潟県よりチューリップNZ球が少量の入荷となる。グラジオラスは下旬から大分産出荷予定。ストックは山形産が中旬、千葉産が下旬から出荷予定。